

平成27年度 なぎさ保育園 事業報告

なぎさ保育園の運営について（27年3月31日付け）

児童数	118名	0歳児	11名
		1歳児	18名
		2歳児	18名
		3歳児	23名
		4歳児	24名
		5歳児	24名
職員数	31名	園長	1名
		主任保育士	1名
		副主任保育士	2名
		リーダー保育士	2名
		保育士	13名（育休職員2名含む）
		パート保育士	7名
		栄養士	1名
		調理員	1名
		パート調理員	2名
		ふるさと雇用	1名
嘱託医	2名	内科医	1名
		歯科医	1名

1. 保育のねらいと反省

- イ) 事業計画の保育目標に示された事柄について、各年齢別に応じて保育内容を定め、子どもの自発性、個別の活動、生活及び保育環境等を特に配慮して保育に当たる。従って児童は、日々において生き生きとした活動が展開された。
- ロ) 日々の保育経過や結果を記録し、保育のねらいがどのように進められたかを反省、評価し、次の年度への手がかりとした。

ハ) 保育時間

<標準時間認定>	早朝保育時間	7:00～8:30
	通常保育時間	8:30～18:00
	延長保育時間	18:00～19:00
<短時間認定>	通常保育時間	8:30～16:30
	延長保育時間	7:00～8:30、16:30～19:00

2. 主な園の行事

新入児歓迎会・花祭り・お散歩・遠足(幼児)・懇談会または個人面談・プール開き・夏祭り・中高生や高齢者との交流会・引き取り訓練・お月見会・運動会・畜産まつり・

親子遠足（5歳児）・お魚解体ショー・発表会・クリスマス会・
科学遊び教室（3～5歳児、年7回）・体育遊び教室（3～5歳児、毎週月曜日）・
リズム遊び教室（2～5歳児、毎月1回）・どんと焼き・餅つき・節分・ひなまつり・
お別れ会・卒園式
各月 誕生会・避難訓練・交通安全指導・防犯訓練（幼児）

3. 保育園の取り組み

- ・他園見学（延べ8園見学。職員の資質向上を図るため実施した。）
- ・保育士の資質向上のため4園（RISSHO KID'Sきらり、ときわぎ保育園、松が丘保育園、なぎさ保育園）の合同勉強会を2回開催した。（7/4、11/14）
- ・研修の充実（職員の資質向上を図るため積極的に研修を受けた。園外研修26回、延べ参加人数67名。園内研修6回、延べ参加人数98名。）
- ・3階ホールのランチルーム化・午睡スペース化の改善工夫を継続した。
- ・乳幼児の各保育室のコーナーの充実および改善工夫を継続した。
- ・他園と交流（公立の鶴が台保育園）
- ・食育（例年行う給食のお手伝いや野菜作りの他に、クッキング（カップケーキ作り、さつまいもおだんご作り、さつまいもクッキー作り、バーベキュー、大根もち作り等）も行った。）
- ・保育園の理念・目標・方針の見直しを行った。（保育内容との整合性を図るため）

4. 健康診断

嘱託医による園児の定期内科検診を2回（5/28、11/5）実施。

嘱託医による園児の定期歯科検診を2回（6/25、12/10）実施。

検査結果を記録。

5. 保育環境及び施設整備

- ・PC5台の買い替え。（パソコンの故障、老朽化のため）
- ・2階、3階の柵の改修工事。（使い勝手が悪かったので改良した。）
- ・ヘルメット収納棚を購入。（幼児クラスの子どもたちのヘルメットを収納するため）
- ・ドラム式洗濯機、二層式洗濯機の買い替え。（洗濯機の老朽化のため）
- ・エアコン15台の清掃。（保育室、厨房の定期メンテナンスのため）
- ・中門の電気錠の修理。（電気錠の故障のため）
- ・遊技場の倉庫・遊具の解体・廃棄工事（老朽化のため処分）
- ・足洗い場、プラ池、雨水浸透マスを設置工事（遊技場の設備の充実のため）
- ・日除けテント設置工事（夏の日差しや西日除けのために玄関に設置した）
- ・庭木の剪定と伐採（カラスの巣作り防止や、不審者対策のため）
- ・保護者貸し出し図書、保育士専門図書の購入（保護者・保育士の資質向上のため）
- ・玩具、保育材料の拡充（コーナーの充実のため、子どもの遊びの発展のため）
- ・乳児クラスの食具（食器、スプーン、介助用スプーン等）の追加購入。
- ・乳幼児の保育室の充実のため、椅子、テーブル、棚を購入。（コーナーの充実のため）
- ・乳児の保育室の充実のため、食事用の椅子、テーブルを購入。

- 幼児のランチルームの充実のため、食事用の椅子、テーブルの購入。
- 機能強化として防災時計、防災無線3台、地デジ対応ラジオ、避難用おんぶ紐を購入。
- メール一斉送信の導入。(災害・緊急時の保護者への連絡手段の向上のため)

6. 地域育児センター

イ) 園庭開放事業、在宅育児支援事業

毎週木曜日に保育園の遊技場や砂場、子育て支援室を開放して、地域の子育て家庭の交流の場を提供した。担当の保育士を決めて子育てのアドバイスや情報提供も行った。また、園の行事にも参加して頂き、園児とも交流してもらった。(お餅つき、夏祭り、お魚解体ショー、絵本読み聞かせ、カフェ2回、親子リズムあそび教室2回など)

延べ家庭数 528家庭

ロ) 相談機能強化事業

講師を招き、子どもの遊び・玩具・環境構成などについてお話を伺い、相談に乗っていただき、園全体で見直し、改善を行い、職員の資質向上につなげた。また、育児センターの子育て相談、アドバイスに活かした。

ハ) 実習受け入れ事業

実習中、園児たちとの触れ合いを通して、子どもたちと過ごす楽しさを感じたり、関わり方を学びながら、保育園の役割や保育者の仕事の理解を深めていただいた。

大学生(保育士養成校) ・1名(6/15~6/27)

・1名(8/21)

短大生(保育士養成校) ・1名(8/10)

・1名(9/7~9/19)

・1名(9/18)

・2名(7/22)

専門生(保育士養成校) ・1名(8/6)

社会人(中学教員) ・1名(8/11~8/12)

二) 世代間等の交流事業

老人ホームに出向き、ゲームを一緒に行ったり、歌や演奏を披露しお年寄りとの交流を楽しんだ。

特別養護老人施設「ハピネス茅ヶ崎」 ・5歳児(6/26)

デイケアサービスセンター「ふれあいの森」 ・5歳児(3/3)

中学生に園児たちとの触れ合いを通じて、保育者の仕事の理解を深めていただいた。

中学生 ・6名(11/18)

平成27年度 なぎさ第二保育園事業報告書

なぎさ第二保育園運営について

(H27年3月現在 120名)

なぎさ第二保育園	児童数	90名定員
0歳児	8名	
1歳児	12名	
2歳児	18名	
3歳児	20名	
4歳児	23名	
5歳児	22名	
合 計		103名

渚ピクニック（分園）	児童数	21名定員
0歳児	6名	
1歳児	7名	
2歳児	4名	
合 計		17名

職員数 23名	園長	1名
	主任保育士	1名
	保育士	19名
	保育士（パート）	2名

嘱託医 2名	内科医	1名
	歯科医	1名

給食委託 5名 日清医療食品株式会社

1. 保育のねらいと反省

- イ) 園内大型遊具を設置し、こどもたちの創意工夫の発掘、異年齢交流、運動量の増進に努めた。園外保育として地域の財産（清水谷、ちゃこ農園）などに散歩に行く回数を増やし、自然や季節を感じられるよう計画し実行できました。平成28年1月には分園（渚ピクニック）が完成し、より多くの待機児童の解消と2施設間の連携、交流を行うことができた。次年度では行事交流についても発展させてゆきたい。

ロ) 日々の保育経過や結果を記録し評価し、保育のねらいがどのように進められたかを、反省し次の年度への手がかりとする。また、異年齢保育を今以上に活発にし、幼児の施設外の人たちとの交流について、目的、ねらいを明確にして児童の健全な成長を促進させたい。

ハ) 保育時間 短時間保育時間 8:30~16:30
短時間保育延長時間 7:00~8:30, 16:30~19:00
標準保育時間 7:00~18:00
延長保育時間 18:00~19:00

2. 主な園の行事

新入園歓迎会 花祭り 遠足 懇談会 七夕祭り プール開き 夏祭り会
高校生との交流会 中学生との交流会 引取訓練 運動会 防火大会 芋ほり
ハロウィン クリスマス会 どんと焼き 餅つき大会 発表会 お別れ会
誕生会 まめまき 卒園式 避難訓練 交通安全指導 防犯訓練

3. 保育園の取り組み

イ) 乳児リトミック 0,1,2,3歳児クラスより音楽に合わせて体を動かすリトミックを取り入れることで、リズムと健康な発達に努めた。

ロ) 5歳児英語教育 ECC ジュニアの外部講師が月2回程度、3,4,5歳児はコスモスポーツクラブ体育指導を行い。湘南スイミングプール指導、湘南サッカー体験などを行い活動導入におけるきめ細かな経験ができた。

ハ) 蚕の飼育、野菜作り、石釜ピザづくり、育てたお米で飯ごう炊飯などを行い食についての興味や知識を学ぶことができた。

4. 健康診断

嘱託医による定期内科検診は 5月、10月の2回行い、歯科検診は6月 11月の2回行う。その結果を記録した。分園開園に伴い1月に追加で新入園児健康診断を行いました。

5. 保育環境及び施設整備

① 園庭大型遊具設置

遊具を設置することで遊び発達、夏場の日陰づくりの充実に努めた。

② 分園（渚ピクニック）開園

乳児型の小規模分園を設置することで、市内待機児童解消に努めた。

6. 地域育児センター機能強化事業

① 育児教室開催事業

毎週木曜日に園を開放し、園庭や図書コーナー、又は砂場などで地域の親子で交流していただくために、外部講師や担当の保育士を決めて支援しています。また、保育制作日を決め、親子で一緒に保育制作を行えるよう支援しました。

地域の子育て家庭を登録、把握してゆくことで地域にあった支援方法を検討、実施できました。

② 子育て情報等提供事業

子育て家庭向けにセンターだよりの配布をし、子育ての相談や情報提供をしました。また、絵本の読み聞かせや貸し出しも行い地域の子育てに役立ちました。

③ 保育ボランティア等支援事業

地域のボランティア等活用し、子どもたちのサッカー体験や梅ジュースづくり、ピザ焼き体験などを行いました。また、保育ボランティアの受入れも行い保育についての理解を深めることが出来ました。

④ 保育士研修事業

保育士の資質向上、新制度に向けた技術の向上を促進するために、研修に行った際、児童の安全と安心を確保するために職員の確保に努めた。

7. 地域社会に開かれた事業運営

(ア) 養成校の研修正の受入れについて 8月～9月、2月～3月 6名

養成校の実習受け入れを行い、保育士を目指す学生に2週間程度の保育実習を行う。事前説明や実習記録の確認、質問等にも答え将来の保育士として就職できるよう努めた。

(イ) ボランティア受け入れ

7月高校生6名 10月中学生2名 11月子育て家庭2名 その他各行事等

地域の高校生、中学生、保護者が保育体験を通じ、保育園への理解、乳幼児への理解を深めてもらえるよう努めた。また、養成校の学生が実習期間外でも、行事等に見学、体験参加できるよう努め一年を通してボランティアの受入れに心がけた。

(ウ) 地域交流について

各行事に4,5歳が参加

地域のお寺行事である「花祭り」に参加しお釈迦様の誕生について住職よりお話を聞かせていただきました。また、「どんと焼き」に参加するため地域の神社に手作り団子を焼きに行き無病息災を祈願した。

8.	一時預かり事業	
	① 非定型的保育サービス利用	56 件
	② 緊急保育サービス利用	件
	③ 私的理由による保育サービス利用	27 件
9.	特定保育事業	
	① 勤労形態	398 件
	② 看護介護	件
	③ 出産	件

10. 苦情処理

今年は苦情としては特にありませんでした。